

アプリケーションノート：

標準試験条件(STC)での短絡電流(Isc)を基準としたパワーオプティマイザとPVモジュールの互換性の決定

2020年5月現在、パワーオプティマイザと太陽光発電モジュールの互換性は、モジュールの温度係数を考慮した短絡電流(Isc)ではなく、標準試験状態(STC)におけるIscの値に基づいて決定されています。

これにより、より幅広いパワーオプティマイザと様々なPVモジュールとの互換性が確保されます。

以下の例では、太陽光発電モジュールのIsc 最大値は、11.18A (Iscの温度係数0.057%に基づいて計算) となっています。このため、この特定のPVモジュールでは、最大入力電流が11AであるP370パワーオプティマイザを使用することができません。しかし、互換性基準を STC でのIsc (10.93 A) に変更すると、P370 パワーオプティマイザの使用が可能になります。

モジュールデータシート

製造者		
モデル		
電氣的仕様	STC	最大到達値
公称最大出力(Pmax)	345W	
公称開放電圧(Voc)	40.3V	43.38V
公称短絡電流(Isc)	10.93A	11.18A
公称最大出力動作電圧(Vmpp)	33.1V	
公称最大出力動作電流(Imp)	10.43A	
出力公差	-0/+1.45%	
公称最大出力(Pmax)の温度係数	-0.37%	
公称開放電圧(Voc)の温度係数	-0.286%	
公称短絡電流(Isc)の温度係数	0.057%	